

平成17年
6月5日号

No.12

●毎月5・15・25日発行

広報 かもがわ

●編集発行・鴨川市総務部市長公室
広報広聴係

●電話・04(7093)7827

●FAX・04(7093)7850

●住所・〒296-8601 鴨川市横渚1450

●ホームページ
http://www.city.kamogawa.lg.jp/



セミナーハウスで行われた提案会

美しい自然をPRしよう！ バリアフリー化を進めて！
遊べる場所が増えるといいな！ のんびりできる場所に！

早大生がまちづくりを提案

鴨川市・早稲田大学
交流事業

市内散策や住民インタビューなど 若者の視点で課題を発見

もし、私が鴨川に住むとしたら。早稲田大学の学生による「まちづくり提案会」が、太海多目的公益用地内のセミナーハウスで開かれました。これは、鴨川市・早稲田大学交流事業として行われたものです。提案会には、同大学教育学部生43人が参加。市内散策や住民インタビューを通じて収集した鴨川の魅力や課題を発表したほか、商工会関係者などと意見交換を行いました。市では今後、学生の要望やアイデアを参考に新市のまちづくりを進め、来年に開設が予定される城西国際大学「観光学部」の受け入れにも役立てていきます。

鴨川市・早稲田大学交流事業「まちづくり提案会」には、教育学部学際コースの2年生43人のほか、教授など7人が参加しました。4月16日に鴨川入りした皆さんは、まず、6班に分かれて安房鴨川駅・太海駅



周辺を散策。商店街の様子や電車、バスの運行状況などを調べました。また、まち歩き途中、住民や観光関係者などにインタビューしながら、まちの住みやすさや観光客の集客状況についても聞き取り調査を行いました。

提案会は翌17日、太海多目的公益用地内のセミナーハウスで開かれ、班ごとに調査結果を発表しました。これには商工会関係者や市の職員も出席し、まちづくりについて学生たちと意見を交換しました。「民宿再生」をテーマに活動した班は、温暖な気候や太海の海岸風景を好印象に挙げる一方、PR不足を指摘。パンフレットの作成や情報誌への掲載だけでなく、民宿ごとにオリジナルのホームページを開発することを勧めています。「学生が住みやすいまち」をテーマに取り組んだ班からは、電車の増便や送迎バスの運行が求められました。また、徒歩や自転車移動する機会も多いことから、「街路灯の増設や歩道の拡張が必要」という意見も出されました。なお、このほかにも提案された要望やアイデアは、「総合的な観光パンフレットの作成」や「バリアフリー化」「娯楽施設や学生用集合住宅の設置」「観光循環バスの運行」などです。

インタビュー

地域との交流が魅力

早稲田大学教育学部教授
円城寺 守さん



オリエンテーション合宿は、実際にまち歩き、住民の皆さんと交流できる絶好の機会。太海でのセミナーハウスに宿泊できるのが、より充実した研究活動ができます。学生たちには、合宿を通じて広い視野を養ってほしいですね。

ふるさとを再発見

早稲田大学教育学部2年
杉田 晃一さん
(市内出身)



生まれ育った鴨川も、学生の立場で見つめ直すと、新しい発見があります。まちの活性化に何よりも大切なのは、人がたくさん住み、訪れること。ふるさとのまちづくりに、活動の成果が少しでも役立てばいいですね。

初めての鴨川訪問に感動！

早稲田大学教育学部2年
橋本 淑子さん
(神戸出身)



鴨川に来たのは今回が初めてです。セミナーハウスからの景色がとてもきれいで感動しました。関西では、干葉県にこんな美しい場所があることを知らない人も多いので、ぜひ、観光パンフレットで豊かな自然をPRしてください。

斬新なアイデアをまちづくりに

鴨川市商工会会長
電田 芳雄さん



鴨川のまちづくりを真剣に考えてくれる学生の姿に、頼もしさを感じました。商工会では、観光業と商工業を結び付け、提案された斬新なアイデアを、積極的に取り入れていきたいですね。



学部の特色などをPR



水田理事長による鉄入れ

学園都市の実現に向け 城西国際大学「観光学部」が起工

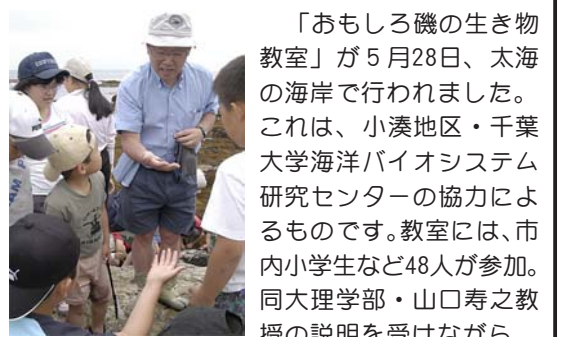
市では、学生の視点から提出された貴重な意見を参考に、新市のまちづくりを進めていきます。



観光案内所で情報を収集

城西国際大学「観光学部」の建設が、いよいよ始まりました。5月17日には太海多目的公益用地で起工式が行われ、大学や市などの関係者約300人が工事の無事を祈りました。起工式の終了後、水田宗子理事長は「貴重な土地を提供いただいた市民皆様の期待に応えたい」とあいさつ。新学部の開設に向けた決意を語りました。これに対し本多市長は、「学生や教職員の皆さんが安心して生活し、学べる環境づくりを積極的に進めたい」と述べました。

大学の先生に教わったよ！ 「おもしろ磯の生き物教室」



「おもしろ磯の生き物教室」が5月28日、太海の海岸で行われました。これは、小湊地区・千葉大学海洋バイオシステム研究センターの協力によるものです。教室には、市内小学生など48人が参加。同大理学部・山口寿之教授の説明を受けながら、岩場のカニやフジツボなどを観察していました。市内では今後も、大学との連携による講演会や実験教室、学生のイベント参加などが予定されています。どうぞ、お楽しみに。

学部説明会に90人が出席

観光学部オープンを来年に控え、市民向け説明会が5月24日に行われました。会場となった城西安房ラウングセンターには、進学に興味を持つ方やアパート経営者など約90人が出席。学部の特色や教育方針、学生のアパート需要などについて、大学関係者や市職員から説明を受けました。出席者からは、「自宅通学できれば、経済面で助かる」「高度な観光教育が期待できますね」「アパート経営のほか、いろいろなビジネスチャンスがありそう」という感想が聴けました。

総合検診の申し込み

【お済みですか】

6月28日(火)から「総合検診」が始まります。申し込みが済んでいない方は、市健康管理課(☎7093)7111)へ。なお、会場までの送迎バスの運行表は追って広報紙でお知らせします。

とじて保存しましょう